

平成18年度宗像市学校給食における
学校・家庭・地域の連携推進事業



宗像市学校給食における学校・家庭・地域の
連携推進委員会

「毎日食べよう、朝ごはん」

～給食に学んだことを生かして～

【テーマ選定の理由】

平成17年10月の食生活実態調査（小2・小5・中2市内全児童生徒対象）で朝食を毎日必ず摂取している率は小学2・5年生で86%、中学2年生で80%となっており、全体で20%前後の児童・生徒が何らかの理由で朝食を摂取していない状況にあります。「食欲がないから」「時間がないから」が主な理由として挙げられます。朝食を摂らないということは、脳の唯一のエネルギー源であるブドウ糖が不足し、脳の働きが鈍くなります。こうなると子どもの健康はもちろん、学力向上にも大きな影響を及ぼしかねません。

もちろん朝食の内容も問題です。中には、朝食にラーメンやショートケーキを食べている子どももいるのです。朝食をきちんととることは、早寝早起きや排便習慣と深いかわりがあり、生活習慣全体の向上にかかわってきます。

そこで連携推進委員会では、前述した児童生徒の「食」の課題を解決するとともに、学校給食を含む児童生徒の「食」をより豊かにすることを目的に本テーマを設定しました。

この統一テーマ「毎日食べよう、朝ごはん」に基づいた種々の活動に取り組むことによって、子どもたちの「食」の基盤である家庭や地域との連携がこれまで以上に強化されることが期待されます。

【目指すべき姿】

《学校》食に関する指導をさらに充実させ、学校給食や指導の状況を公開することによって、児童・生徒の食に関する自己管理能力を高めるとともに、家庭・地域の教育力の向上を図る。

《家庭》将来の日本を担う、児童生徒が健康に育っていくために、望ましい生活習慣を身に付けさせる基礎となる家庭において、朝食のあり方を考えることを通して食生活の向上を図る。

目次

- 学校における食指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～5ページ
- 学校における食に関する指導状況の公開・・・・・・ 6ページ
- 連携推進委員会・教育委員会主催事業・・・・・・ 7ページ
- 参考：宗像市教育21世紀プラン・・・・・・・・・・・・ 8ページ
- 平成18年度連携推進委員会名簿・・・・・・・・・・・・ 9ページ

学校における食指導（案）

★＝市内各小中学校で必ず行ってもらふ事業 ☆＝事業提案（選択事業）

児童生徒の健康的な食生活全般につながるような食指導を学校で行う

★月に1週間「朝ごはんウイーク」を設置

【取組内容】

毎月、第2週を「朝ごはんウイーク」とし、児童生徒が朝食摂取表に、朝食摂取状況・朝食内容を記入する。

【期待される効果】

朝食摂取意識の高揚を図る。朝食摂取状況が思わしくない児童・生徒及び保護者に対しては、学校栄養士や担任が食指導に当たる。＊朝食摂取表は教育委員会にて雛形準備。

☆弁当の日を設置

【取組内容】

弁当の日を設定し、児童・教師が自分で作った手作り弁当を持参する。弁当作成上の留意点について、教諭や学校栄養職員が事前に指導を行っておく。＊対象＝小学校5・6年

【期待される効果】

- ▽ 食事作りの楽しさや大変さを体験する事で、食事を大切にする心や感謝の気持ちが育つ。
- ▽ 日頃の自分の食事を見直し、望ましい食習慣について考えることができる。子どもたち自身の「生きる力」の育成

☆子ども料理名人育成塾への参加

【取組内容】

福岡地区学校給食連合会事業。夏休みの応募作品のひとつとして、自分で料理を作り、レシピ・写真を栄養士に提出する。

＊対象＝小学校1～6年生

【期待される効果】

「弁当の日」と同じ

★給食紹介

【取組内容】

給食メニューのレシピ掲示・配布

家庭で摂取しにくい鉄やカルシウム、食物繊維の豊富なメニュー、人気メニュー
掲示コーナーの充実

旬の食材の紹介や食に関するクイズなどの展示、児童生徒の給食状況写真の展示
など

学校学級新聞、給食だよりでの食教育

【期待される効果】

給食献立を通して、家庭の食生活の向上を図る。

▽食に関する情報を発信することで、食に関する興味関心が増す。

▽児童生徒の食事状況のみで、親子の共通の話題ができ、家庭での食生活向上が期待できる。

☆宗像市食生活改善推進会会員等を活用した授業・事業（小学校のみ）

【取組内容】

調理実習＝食進会会員が、地場農産物を使って子どもたちでも簡単にできる栄養バランスのよい朝食づくり、弁当づくりについて指導する。PTA主催で行ってもOK。詳しい内容については、学校またはPTAが学校栄養士を通し、食進会各支部と打合せを行う。

【期待される効果】

食進会の会員をゲストティーチャーとして、調理実習に活用することにより、授業を受ける子ども（及び参観者）が、郷土の伝承料理の継承や地元農産物の活用の仕方などについての理解を深めることができるとともに、子どもたちが料理の楽しさを実感できる。

*時期 食進会各支部希望時期（下記参照）に実施。希望時期にできない場合は、調整を行うこと。連絡先は食進会事務局（メイトム宗像健康づくり課内）TEL 36-1187

（食進会料理教室実施希望時期）

支部名	小学校名	実施希望時期
自由ヶ丘	自由ヶ丘小	5月
	自由ヶ丘南小	9月
赤間西	赤間西小	6月
東郷	東郷小	9月
赤間	赤間小	9月または10月
河東	河東西	6月
	河東	7月
日の里	日の里西	8月
	日の里東	12月
吉武	吉武	10月
南郷	南郷	9月または10月
玄海東	玄海東	9月または10月
玄海	玄海	9月または10月
事務局（健康づくり課）	地島	事務局と相談
事務局（健康づくり課）	大島	事務局と相談

☆学校の日健康相談

【取組内容】

学校の日健康や食についての専門職である養護教諭や市保健師、学校栄養士らが、保護者や地域の人との相談を受ける。

【期待される効果】

児童生徒をはじめ、保護者、地域の方の生活習慣や食生活の向上を図る。

☆料理教室

【取組内容】

親子・児童生徒・保護者を対象に、学校給食好評メニュー、おやつ、朝食、魚料理、豆料理などを学校栄養職員が指導する。

【期待される効果】

料理作りの楽しさを体験し、食に関する興味・関心を持たせると共に、家庭の食事内容の向上を図る。

☆PTA 総会・授業参観等での食育講演会

【取組内容】

各学校が食に関する実態調査をもとに、重点目標を定め、各学校の実態にあった講師を迎えて講演会を催す。その際、地域の方の参加も呼びかける。

【期待される効果】

▽食生活や健康に関する講演を通し、学校・家庭・地域の食生活を含めた健康的な生活の向上を図る。

▽食に関心の少ない保護者にも、食の大切さを理解してもらうことができる。

- * 学校費用負担 2時間20000円以内
- * 講師は、基本的には学校が直接交渉。教育政策課（Tel 36-5099）が相談に応じます。

☆「学校給食における学校・家庭・地域の連携事業」の研究発表会

【取組内容】

学校給食における学校・家庭・地域の連携の在り方についての研究成果を会場校の授業や食に関するイベントを通して、教職員や保護者、地域住民に公開する。

【期待される効果】

学校栄養士や関係機関と連携して行う第1学年から第6学年の発達段階に応じた食に関する授業を、広く公開することによって、保護者や地域住民の食への関心を高めるとともに、各学校における食に関する指導の充実が図られる。

☆生産者を活用した授業

【取組内容】

総合的な学習の時間・生活科などに、生産者が食物の栽培や流通・加工について指導する。

* 3月下旬にJAむなかた営農企画課から各学校に提出されるふるさと教育応援団事業の活用を。

【期待される効果】

児童生徒が、生産者との交流を持つことにより、食に関する興味関心を高めることが出来る。また、生産者への感謝の気持ちや郷土を愛する心が育ち、食材を大切にしようとする気持ちが育つとともに、地域社会とのつながりを育てることができる。

* 学校費用負担 必要な場合のみ（施設見学等でバス借上料など）

☆魚さばき体験

【取組内容】

地場で獲れる魚を実際にさわり、調理する。魚はアジを予定。

* 学校費用負担 宗像漁港婦人部に依頼する場合、費用負担1000円／人程度。宗像料理人会（玄海旅館組合板長の会）に依頼する場合は別途交渉。材料費は宗像・鐘崎漁業組合提供もしくは補助金で。

【期待される効果】

食の実態調査で苦手メニューとされた魚料理に愛着をもってもらう。「命をいただく」ことを実感させる。地元で獲れる水産物のおいしさを実感させる。

* 教育政策課（Tel 36-5099）へ実施予定日の2週間以上前に連絡。

学校における食に関する指導状況の公開

★=市内各小中学校で必ず行ってもらう事業 ☆=事業提案（選択事業）

保護者や地域の人に対し、給食の様子や食に関する授業等を公開することによって、食に対する関心を深めさせるとともに、現在の学校給食についての理解を図る。また、児童生徒の食生活の向上を図り、家庭や地域に向けても食生活の向上のための情報等を発信していく。原則「学校の日」にあわせて公開する。

※広く一般市民に呼びかける場合は、教育政策課（Tel 3 6 - 5 0 9 9）へ試食会等予定日の2か月前までに連絡を。市広報紙・HP、コミュニティ紙等で募集

学校の日等に給食時間の公開

【取組内容】

★試食会（参加者費用負担 小学校＝2 2 0 円／人、中学校＝2 5 5 円／人）

地域開放試食会、就学前試食会等

☆招待給食

生産者・学校のゲストティーチャー・地域の独居老人・児童の祖父母等

★特別献立（学校栄養職員や担任による一口指導を行う）

地場産物の日・伝承料理・セレクト給食・バイキング給食・お弁当給食・お誕生日給食・縦割り給食・横割り給食・地域別給食

【期待される効果】

- ▽ 保護者や地域住民の学校給食の目的や現状についての理解が深まる。また、食についての関心が高まることにより、家庭での食生活を見直すなど、食生活の向上が期待できる。
- ▽ 児童生徒が、招待給食を通し祖父母や地域の方と食事をしながら交流することで、マナーを教わったり、昔の食事についての話を聞いたりすることにより、食に対する興味関心を高め、自分の食生活を見直すことが期待できる。
- ▽ 在校生の保護者だけでなく、入学予定者の保護者などに給食への関心・理解を深めさせることができる。

★学校の日等に食育公開授業

【取組内容①】

教科(家庭科・保健体育)・総合的な学習の時間・特別活動等の時間を活用して、担任と学校栄養士が、チームティーチングを行ったり、特別非常勤講師を活用したりしながら実施する。

【期待される効果】

食の専門家である学校栄養職員を授業等に活用し、学校給食と連携した授業を実施することによって、より効果的な授業を行うことができる。

保護者等参観者が、子どもに対する学校の指導状況を見ることにより、家庭における食育の啓発を図ることが期待できる。

連携推進委員会・教育委員会主催事業

児童・生徒の食に関する実態調査広報発表

【取組内容】

6月15日号の市広報紙で平成17年10月に実施した食の実態調査結果とその分析、学力との相関関係、連携推進事業を掲載する。

【期待される効果】

広く一般市民が児童生徒の食の実態を知ると共に、食の大切さを理解し、自ら食生活について考えることができる。

簡単朝食レシピコンテスト

【取組内容】

簡単にできて、季節感を感じる食材を使った栄養満点の朝食レシピのコンテストを実施する。集まったレシピを栄養士がアレンジして、学校やコミュニティに渡す。食進会の料理教室や市の広報紙・公式ホームページ等でも紹介。小学生・中学生・一般の部などに分けて行う。優秀作品には、推進委員会から粗品を進呈する。

周知方法は5月発行の広報紙・コミュニティ紙にて公募。7月にコンテスト審査実施

【期待される効果】

平成18年度統一テーマ「毎日食べよう、朝ごはん」を広く一般市民に周知する。簡単朝食のレシピをPRし、家庭で実践してもらおう。

給食メニューのレシピ・簡単朝食レシピ集作成

【取り組み内容】

各学校で人気の給食メニューのレシピ、簡単朝食レシピをまとめ、保護者に配布または市公式HPに掲載。

【期待される効果】

子ども達に人気のメニューや簡単朝食のレシピをPRし、家庭の食生活向上を図る。



- ◇ 自らを語り、宗像を知り、世界にはばたく子どもたち (自己理解・郷土理解・国際理解)
- ◇ よく遊び、よく学び、明日を夢見る子どもたち (成就感・達成感・期待感)
- ◇ ひとの命、ひとを愛する心豊かな子どもたち (生命愛・人間愛)



【学校教育の重点目標】信頼される学校づくりの推進

豊かな心を育む教育活動の充実

確かな学力を育む教育活動の充実

健やかな体を育む教育活動の充実

福岡教育事務所による指導・支援

宗像市学校教育研究協議会との連携

宗像市研修会等

学校教育の重点方針

宗像市学校支援プロジェクト

学力向上に関する研修

- 【宗像市教育委員会主催研修】
- 「研究発表の日」研修会
 - 宗像市学年主任等研修会
 - 宗像市学力向上支援教員研修会
 - 宗像市英語活動・外国語教育担当者研修会
 - 小学生のための楽しい英語活動づくり講座
- 【福津市共催研修会】
- ◎ 若年教員授業力向上研修会

確かな学力を育む教育活動の充実に向けた方針

- 1 子どもの「学びの基盤」の形成
 - ◎ 学習習慣の形成
 - 話しの聞き方、話し方・ノートのとり方・家庭学習等
 - ◎ 生活リズムの確立
 - 「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣形成
- 2 教師の「授業力」の向上
 - ◎ 基本的な授業技能の向上
 - 発問、指示・板書・資料活用・話し合い・話術、表情等
 - ◎ 魅力ある授業構想力の向上
 - 子どもが“めあて”をつくり“まとめる”学習
- 3 確かな学力を育成する学習内容の充実
 - ◎ 基礎・基本を明確にした教科等の授業の実施
 - 目標や内容、評価が明確になった指導計画
 - ◎ 現代的な教育課題を学ぶ総合的な学習の時間の実施
 - ふるさとや進路、国際理解をテーマとする学習等

確かな学力の育成関連プロジェクト

- 宗像市研究指定事業 (学・政)
- 学力テスト推進事業 (学・政)
- 指導方法工夫改善事業 (学・政)
- 特別支援教育推進事業 (学・政)
- 少人数学級推進事業 (学・政)
- IT指導員派遣事業 (学)
- 国際理解推進事業 (学)



豊かな心の教育に関する研修

- 【宗像市教育委員会主催研修】
- 宗像市教育講演会
 - 宗像市図書館教育担当者研修会
 - 宗像市人権・同和教育担当者研修会
 - 宗像市生徒指導担当者研修会
 - 宗像市相談業務関係者等研修会
 - 宗像市特別支援教育研修会
 - 宗像市特別支援教育コーディネーター研修会

豊かな心を育む教育活動の充実に向けた方針

- 1 週1時間の道徳の時間の確実な実施
 - ◎ 児童生徒が年間35以上の主題にふれる授業の実施
 - 児童生徒の発達段階に即した指導計画
- 2 人間関係力の育成に機能する特別活動の実施
 - ◎ 発達段階に応じた係りや話し合い、集会の活動の実施
 - ◎ 生徒が自発的、自治的に行う生徒会活動の実施
 - 児童生徒相互の“かかわり”に重点化した指導計画
- 3 様々な学びのベースとなる読書活動の実施
 - ◎ 市図書館や読書ボランティアを活用した豊かな活動
- 4 児童生徒の教育的ニーズに応じる特別支援教育の実施
 - ◎ コーディネーターを中心とする校内体制の整備
 - ◎ 小中学校が連携して取り組む当該児童生徒への支援

豊かな心の育成関連プロジェクト

- ニュージーランド交流事業 (子)
- 体験活動報告会 (子)
- 子どもまつり (子)
- むななつ子ども新聞 (子)
- 小学校セカンドスクール事業 (「ワクワクウィーク」) (子)
- 中学校職業体験学習事業 (子)
- 漁村留学事業 (学)
- 青少年センター事業 (子)



健やかな体の教育に関する研修

- 【宗像市教育委員会主催研修】
- ◎ 食に関する研究発表会における研修
 - 宗像市養護教諭研修会

健やかな体を育む教育活動の充実に向けた方針

- 1 学校における食指導の実施
 - ◎ 統一テーマ「毎日食べよう、朝ごはん」の具現化
 - ◎ 各学校の食に関する課題を解決する全体計画の具体化
- 2 地域指定2年次のまとめとしての研究発表会
 - ◎ 会場校の公開授業や食に関する催して啓発する食の重要性

健やかな体の育成関連プロジェクト

- 学校・給食における学校・家庭・地域の連携推進事業 (政・給)
- 中学校部活動地域指導者活用事業 (学)



学校の重点目標を具現化する学校評価の充実

学校評価に関する研修

- 【宗像市教育委員会主催研修】
- 宗像市校長研修会
 - 宗像市教頭研修会
 - 宗像市教務主任研修会
 - 宗像市教職員社会体験研修
- 【福津市共催研修会】
- 宗像市校務運営企画力アップセミナー
 - 宗像地区教育論文研修会

学校評価に関わる方針

- 1 学校の自己点検・自己評価の一層の充実
 - ◎ 学校の重点目標の到達目標化と研究主題の関連化
 - ◎ 学校経営案と学校診断表と学力向上プランの関連化
 - 重点的な学校経営推進構想の作成
 - 週案を生かした管理職等の授業訪問による児童生徒の学習状況の評価と指導方法の工夫改善
 - 重点目標達成のための「学校の日」や評議員、児童生徒等を生かした評価項目の関連化と指導の改善
- 2 授業力・経営力を高める指導体制の充実
 - ◎ 学年、学級経営案と目標管理制度における自己評価表の関連化と内容の充実
 - 研究主題と関連した研究授業の全員実施と協議会の充実

学校評価プロジェクト

- 「学校の日」推進事業 (政)
- 宗像市学校教育研究協議会 (政・学)
- 学習意識調査推進事業 (政)
- 自己評価及び業績評価推進事業 (政)



小中一貫教育モデル校における調査研究

宗像市学校給食における学校・家庭・地域の連携推進委員会委員名簿

氏 名	役 職 等
沖田 卓雄	福岡教育大学教授
未定	日本赤十字九州国際大学
森 千鶴子	コピーライター
大嶋 正紹	小学校校長
未定	中学校校長
有川 高一郎	小学校教頭
未定	研究指定会場校給食担当者
尾宮 真己子	P T A関係者
大森 美津代	宗像市食生活改善推進会
亀石 ひとみ	県技術主査（南郷小）
山口 恵子	市学校給食課栄養士（玄海小）
脇田 哲郎	市指導主事

（事務局）

服部 和生	市教育政策課課長
橘 和良	市教育政策課教育政策係長
赤崎 尚子	県技術主査（河東小）
林田 真基子	市教育政策課主査
鎌田 彩子	市学校給食課栄養士

●事務局連絡先

教育政策課 〒811-3492 宗像市東郷1-1-1

宗像市教育委員会内

電話36-5099、ファックス37-1525